

2025(令和7年)度「自然観察会」(共催)の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

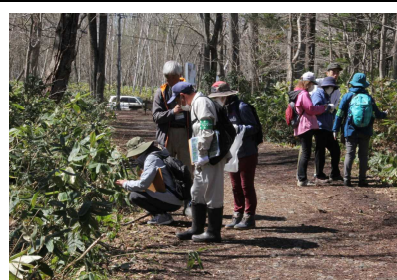
観 察 会	「春のありがとう観察会」(A:桂コース、B:エゾユズリハコース/各折り返し)	
開催日時	2025(令和7)年4月17日(木)9:50-12:00	
天 候	晴 (開始時風速5.3m/s) 出発時12.0℃ 正午12.7℃ (アメダス江別)	
参加状況	一般参加者:31人、9班/ ボラレン:12人(前日下見会13人)	
観察記録 主なもの	草 本	(開花)アキタブキ、エゾエンゴサク、ミズバショウ、ザゼンソウ、フクジュソウ、 (蕾)エンレイソウ、 (芽出し)アザミの仲間、エゾトリカブト、オオウバユリ、コンロンソウ、セントウソウ、オオタチツボスミレ、ニリンソウ、ネコノメソウ、ノブキ、ヨブスマソウ、サラシナショウマ、ルイヨウショウマ、ミミコウモリ、バイケイソウ、ヒメザゼンソウ、マイヅルソウ、 (葉)サイハイラン、トケンラン、サルメンエビネ、
	木 本	(開花)エゾノバッコヤナギ、エゾノキヌヤナギ、オノエヤナギ、カツラ、シラカンバ、ナニワズ、ハルニレ、フッキソウ、ヤドリギ、 (蕾)キタコブシ、ウダイカンバ、イヌコリヤナギ、エゾニワトコ、シウリザクラ、ツルマサキ、エゾユズリハ、 (冬芽)キハダ、タラノキ、ハリギリ、ホオノキ、 (樹)ハイイヌガヤ、ハイイヌツゲ、
	野 鳥	キバシリ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、アカゲラ、ヒヨドリ、トビ
	その他	(ササ)クマイザサ (シダ)コタニワタリ、エゾフユノハナワラビ リョウメンシダ、シシガシラ、オシャグジデンド、 (キノ)ベニチャワンタケ、シロキツネノサカズキモドキ(観察会時、消失) (両生類)エゾアカガエル(卵)、エゾサンショウウオ(卵)、於:お玉の池 (陸生貝類)サッポロマイマイ、 (昆虫)クジャクチョウ、 (動物)エゾリス、
感想など	<ul style="list-style-type: none"> ・前日の雨で泥部があったものの天気も良く春の息吹が感じられる観察会だった。 ・類似種の多い不明植物のスマホ検索の便利さと不確実さを実感してもらい、目星をつけて図鑑(ボラレンのハンドブック)使って確認してみた。(サラシナショウマとルイヨウショウマにモデルになってもらいました。) ・クジャクチョウがフキノトウで吸蜜をしており、学名の亜種名がgeishaでありその艶やかさから日本語の“芸者”からつけられたという話をして納得していた。 	



快晴のもとでの開会式



ガイド風景



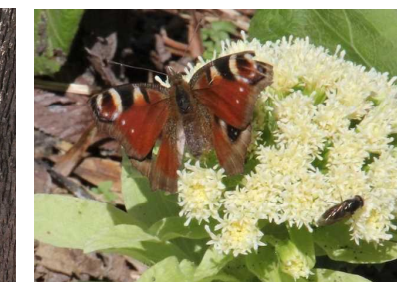
ガイド風景



ガイド風景



ガイド風景



フキノトウで吸蜜するクジャクチョウ

(記録担当:藤田潔、吉田安正、写真:仲西正彰)

